8. 肺癌における肺血流シンチグラフィの臨床的検討

田口　正人　吉村　広　島袋　国定
城野　和雄　坂田　博道　中條　政敬
篠原　慎治　(鹿大・放)

今回われわれは肺癌患者111例に ^{99m}Tc-MAA による肺血流シンチグラフィを実施し肺血流障害等について検討し，下記の結果を得たので報告した．1) 肺門型肺癌では肺野型肺癌より肺血流障害は強かった．2) 腺癌では，扁平上皮癌，小細胞癌より肺血流障害は軽度で限局したものが多かった．3) Stage 別では，Stage が進むにつれて肺血流障害も高度かつ広範囲であった．さらに放射線治療後にも再度肺血流シンチグラフィを実施した57例では，4) 放射線治療後X線像で改善がみられても肺血流シンチグラムでは改善のみられないものが，かなりみられた．5) 治療前の肺動脈造影で血管侵襲の強いものでは，治療後のシンチグラム所見の改善率は低かった．

9. ^{81m}Kr による肺換気血流検査——特に換気血流不一致症例を中心に——

勝山　直文　三浦健太郎　外間　之雄
大宜見辰雄　中野　政雄　(琉球大・放)

換気血流不一致の代表的な疾患は肺栓塞であり，血流異常，換気正常の所見を呈する．大動脈炎症候群や肺癌などにおいても同様の所見を呈することがある．また逆に気管支狭窄を呈する疾患においては，換気異常に比し血流障害が軽度である所見を呈することがある．これらの症例を対象に ^{81m}Kr による換気血流検査を行い，その像について検討した．また一部の症例においてコンピュータ処理を行い，換気血流比を出したので，報告する．

座長のまとめ (6～9)

森田誠一郎　(久大・放)

演題 6, 7 はともに，原発性肺癌に対する肝，骨，ガリウムシンチの efficacy についての発表で，特に肝シンチに対して，演題6では無用，演題7では有用と全く反する内容であった．今後さらに検討を加え慎重に結論を出す必要があろう．

演題 8 は，原発性肺癌に対する肺血流シンチの有用性について報告した．肺動脈造影の併用については，リンパ節の関与の状態をより正確に把握できるために行った方がよいとのことであった．

演題 9 は，^{81m}Kr を用いて種々の疾患の換気血流パターンの供覧と，一部コンピュータ処理による換気・血流比の算出が試みられた．さらに検索を加えられたい．^{81m}Kr と ^{133}Xe のどちらが良いかとの質問に，air trapping のあるものでは ^{133}Xe が良いなど，症例により使い分けられたらよりベターとの解答であった．

10. 肺サルコイドーシスの ^{67}Ga-citrate scintigraphy

沖永　利親　大坪　正明　菊池　茂
森田誠一郎　大竹　久　(久大・放)
市川洋一郎　(同・一内)

13症例のサルコイドーシスに対して胸部X線像と Ga シンチ像の対比，Ga の集積程度および ACE 値との関係について検討し，次のような結果を得た．

1) 胸腔内リンパ節腫の検出に関しての検討では，気管分岐下部リンパ節腫の検出においては ^{67}Ga-シンチ像の方がすぐれていた．

2) Ga-シンチ像は全身のサルコイド病変をよく反映する．

3) ACE 値と ^{67}Ga-citrate の集積は相関する．

4) 眼病変と同部位への ^{67}Ga-citrate の集積は必ずしも一致しない．

5) 経過を観察し得た2例では病変が好転するに従い ^{67}Ga 集積は低下した．

11. 両側肺に ^{67}Ga のびまん性集積を示した症例について

松本　新一　兼行　由美　西　文明
菊池　茂　森田誠一郎　大竹　久
(久大・放)

両側肺に ^{67}Ga のびまん性集積を示した16症例を経験した．

(1) 胸部X線上，正常あるいは局在病変にとどまる10症例では，全例制癌剤を使用していた．各例の集積の

Presented by Medical*Online